

生き物を観察しよう



学習のねらい

- 綾瀬川の生き物の種類、特徴を学習する。
- どのような環境に、どのような生き物がいるかを観察する。

1. 野鳥について

綾瀬川では44種（H13年度）の野鳥が確認されています。カワウ、ダイサギ、カルガモといった留鳥や漂鳥が29種と最も数が多くなっています。次いで多いのが日本で越冬する冬鳥で、9種が確認されています。



草加市新栄団地付近のバードサンクチュアリ。
観察場が2ヶ所設けられ、水鳥などが観察できます。



大曽根ビオトープ。
水鳥やヨシ原に生息する野鳥が観察できます。

- 観察に必要なもの…………… 双眼鏡、図鑑。
- 観察の仕方…………… 全体の形、各部の色、嘴や尾の長さや形、とまり方などの特徴を覚え、図鑑で調べます。
- 観察する時に注意すること
 - ・ 望遠鏡、双眼鏡で絶対に太陽を見ない。
 - ・ 騒いだり、野鳥に近づきすぎない。
 - ・ 鳥に餌を与えない。
 - ・ 巣を見つけたら、そっと離れる。

2. 植物について

綾瀬川では、171種（H5年度）の植物が確認されています。ヨシやマコモ等の水生植物が生えている場所はわずかで、コンクリートなどの隙間や植栽のシバにまじって生えている植物がほとんどです。

- 観察に必要なもの…………… 植物図鑑、軍手
- 観察の仕方……………
 - ・ 水辺に近いところから少しづつ水辺を離れてどのような植物が生えているか記録する。
 - ・ 場所によって生えている植物がどのように違うか、観察する。背の高さや形もチェックして、それをもとに種の名前などを調べる。
- 観察する時に注意すること
 - ・ 植物をむやみに土の中から抜いたりしない。
 - ・ 水際を歩くときは注意して歩く。

3. 昆虫について

綾瀬川では431種（H11年度）の昆虫が確認されています。ゴミムシやコハンミョウといった甲虫やハチ・アリの仲間、クモ等の種が多く見られます。水生植物が生えているような場所では、トンボやバッタの仲間を見ることもできます。

- 観察に必要なもの…………… 昆虫図鑑。虫めがね。捕虫網。
- 観察の仕方…………… 植物と同じように大きさ、色、形を見きわめて、そこから種の名前などを調べます。
- 注意事項…………… かんざり、刺したりする虫もいるので注意して下さい。
捕った虫は、観察が終わったらできるだけ逃がしてあげましょう。

4. 魚類について

綾瀬川流域全体で確認できた種は増加傾向にあります。コイ科の淡水魚など水質汚濁に比較的強い種の個体数が多く、近年では、コイ、フナ、モツゴ、ウグイ、タモロコ、シマドジョウ、ナマズ、ヌマチチブなどの魚種が確認されています。但し、綾瀬川の下流域においては、魚類の姿が確認されていない地点もあり、手代橋より下流では魚類の確認頻度が減少しています。



フナ



モツゴ



オイカワ

魚種の数推移グラフ（流域全体）

